

## <参考資料>

### 1 腐食防食学会「技術賞」表彰

(公社)腐食防食学会(JSCE)は、正会員、特別会員または特別会員所属の個人によって、腐食防食の分野における工業技術の開発、啓蒙および普及において顕著な貢献がなされたものを対象に毎年表彰を行っている。

<受賞例> 2021年度：2件      2020年度：該当なし      2019年度：3件  
2018年度：1件      2017年度：1件      2016年度：3件

※(公社)腐食防食学会表彰 <https://www.jcorr.or.jp/annai/hyosyo.html>

※(公社)腐食防食学会とは、材料全般の腐食防食に関する研究の促進および技術の普及をめざし、技術者間の交流・提携の場を提供する国内唯一の機関。対象は日常的な家電品から種々の工業製造設備、上下水道、港湾など公共的な施設、また、酸性雨、フロン等の全地球的規模の環境、さらには宇宙環境に至るまで極めて広い範囲に及ぶ。これらの環境で使用される材料の開発・選定および保全等を担う技術者の活動の円滑化ならびに腐食防食技術の発展に寄与することを目的とする。

### 2 受賞内容

業績課題：JIS Z 2384「大気腐食モニタリングセンサ」の原案作成と制定

受賞者：金森英夫(埼玉工業大学)、中津美智代(福井県工業技術センター)

高谷泰之(トーカロ株式会社)、鈴木智康(株式会社シュリンクス)

田原晃(公益社団法人腐食防食学会)

市場幹之(東京電力ホールディングス株式会社)

兒島洋一(株式会社UACJ)、村上浩史(北斗電工株式会社)

押川渡(琉球大学)

受賞記念講演会：5月19日(水)13:00~14:30

「材料と環境2021(Web)」にて開催

講演者は金森英夫(埼玉工業大学)

表彰式はコロナ禍の影響で取り止め

### 3 大気腐食モニタリングセンサの概要

一般的な金属材料の錆びにくさの評価は、10~20年という長期間の暴露試験や金属材料試験片の目視観察などが用いられている。本センサは腐食(錆び)時に発生する微弱電流を計測解析することにより、腐食速度などを評価することができる。現在、本センサは植田工業(株)三方工場より販売され、近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2017」にも選定されている。



大気腐食モニタリングセンサ

#### 4 工業技術センターの受賞者

化学・繊維部 部長 中津 美智代 (なかつ みちよ)

##### 功績概要：

「大気腐食モニタリングセンサ」は、大学等の研究者により、有用性が認識され、橋梁、住宅、化学プラント、電力、自動車等の多岐にわたる分野において、金属材料の腐食寿命予測、腐食環境評価などの目的で多用されてきた。このような中で、工業技術センターは、計測器として、センサの品質性能を担保し、信頼性を維持管理することが社会的に必要であることを腐食防食学会に働きかけ、今回の JIS 制定の運びとなった。



具体的な功績は、センサの開発・普及に関与してきた主要研究者として、2017 年、腐食防食学会に設置された JIS 原案作成委員会（産学官関係者 16 名構成）に参画し、約 1 年間の検討を重ねて原案を作成した。2019 年 9 月、この原案をもとに JIS Z 2384 「大気腐食モニタリングセンサ」が JIS に制定された。